

令和元年度 第1回 札幌市 地震被害想定検討委員会

資料 1: 検討の背景と検討スケジュール

令和元年11月7日

札幌市危機管理対策室

1. 検討の背景

札幌市第3次地震被害想定(平成18~20年度実施)から約10年が経過

平成30年(2018年)北海道胆振東部地震で、本市にも被害発生	<ul style="list-style-type: none">・現行の想定にはないブラックアウトや液状化現象などが発生したことから、今後の災害対応に万全を期すため、これらの事象以外の想定手法や内容も含めて精査が必要
被害地震等による新たな知見、着目点	<ul style="list-style-type: none">・外国人観光客含む帰宅困難者、車中泊避難、ペット同行避難・大規模停電
地震評価上方修正や要領指針の改訂	<ul style="list-style-type: none">・平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)を契機とした、地震評価の上方修正・宅地の液状化などに対応した、要領・指針の発行や改訂
ボーリング等基礎データの蓄積	<ul style="list-style-type: none">・地下構造のバックグラウンドとなるデータの拡充・被災後の調査による、被害が生じた地盤のデータ
人口や社会の統計データの更新	<ul style="list-style-type: none">・少子高齢化の進行、インバウンドの急速な増加など、変化の早い社会への対応・建物耐震化の整備効果
電算・通信の能力向上	<ul style="list-style-type: none">・64bitOS、携帯端末ほかCPU進化等、処理能力向上・光通信網や高速な移動体通信網(4G)の整備普及

参考資料 1 参照

以上に対応し、防災計画に関わる地震被害想定において、手法の妥当性検証(見直すべき点の有無や内容の確認)と、結果に基づく見直しが必要

2. 検討スケジュール(全体)

実施項目		令和元年度(2019年度)				令和2年度(2020年度)				令和3年度(2021年度)			
		①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④
【地震動予測】 ・震源モデル(3タイプ5地震) ・地下構造モデル(浅部深部) ・強震動計算	手法の妥当性の検証			■									
	見直し					■	■	■	■				
【被害想定】 ・人的・物的被害 ・社会的被害 ・経済被害 ・新たな被害想定項目	手法の妥当性の検証			■	■	■	■						
	見直し					■	■	■	■				
【普及啓発】 ・地震防災マップ ・地域防災計画の修正案に対する助言	手法の検討									■	■		
	地震防災マップ											■	■
	地域防災計画助言									■	■	■	■
主要な検討段階 (●: 主要段階、◎: 必要に応じ検討)				◎ ●	●	●	◎ ●	●	◎ ●	●	●	◎ ●	●

検証・見直し
内容の確認

地震被害想定
見直し完了

改訂版
発行

- 資料調査に基づく検証・検討等
- モデル作成・解析・数量算出・成果作成等

■ 札幌市第3次地震被害想定検討委員会の活動予定と経過

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
検討項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 手法の妥当性の検証 ● 新たな被害想定項目の検証 	<ul style="list-style-type: none"> ● 手法の妥当性の検証 (一部継続実施) ● 地震動予測の見直し ● 被害想定の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域防災計画の修正案に対する助言 ● 防災知識の普及啓発のための基礎資料更新
内容	(1) 新たな知見・事例収集 (2) 地震動予測の考え方・手法の妥当性検証 (次年度見直しに向けた必要事項の抽出) (3) 近年の地震災害を踏まえた 新たな被害想定項目の検討	(1) 新たな知見・事例収集(継続実施) (2) 震源モデル・地盤構造モデル ・強震動計算の見直し (3) 被害想定の考え方・手法の妥当性検証 (地震動予測見直し結果を考慮) (4) 人的・物的被害、社会的被害、 経済被害等各被害想定の見直し	(1) 地域防災計画の修正案に対する助言 (2) 普及啓発手法の検討 (3) 地震防災マップ改訂

【令和元年度委員会の予定】

① 今回 11/7

- ・概要説明、検討内容の概括確認

② 予定 12月

- ・中間段階における検証結果の報告と意見聴取

③ 予定 3月

- ・今年度検証結果に対する意見聴取、総括